

安全データシート

1. 製品および会社情報

品名：アリクソン乳剤 Neo クリア / オレンジ

社名：フジ化学工業株式会社

住所：福井県福井市三十八社町 33-66 〒918-8585

担当：マネジメントシステム部

電話：0776-38-8031 FAX：0776-38-8404

作成：2011年10月4日 改定：2017年7月31日

2. 危険有害性の要約

<GHS分類>

物理化学的危険性：分類対象外、区分外、または分類できない。

健康に対する有害性：分類対象外、区分外、または分類できない。

環境に対する有害性：分類対象外、区分外、または分類できない。

<GHSラベル要素>

絵表示：該当しない。

注意喚起語：該当しない。

危険有害性情報：該当しない。

<注意書き>

該当しない。

3. 組成および成分情報

化学物質または混合物の区別：混合物

成分および含有量：

(RS)-1-メチル-2-ニトロ-3-(テトラヒドロ-3-フリルメチル)ゲアニジン

(別名：ジノテフラン) 0.1 %

2-(2,4-ジフルオロフェニル)-1-(1H-1,2,4-トリアゾール-1-イル)-3-(トリメチルシリル)プロパノン-2-オール

(別名：F-69) 0.1 %

4. 応急処置

眼に入った場合：

直ちに清浄水で15分以上洗浄、医師の手当を受ける。

皮膚に付着した場合：

付着物を布で拭き取る。水と石けんで付着した部分を洗う。

外観の変化や痛みがある場合には医師の手当を受ける。

吸入した場合：

新鮮な空気の場所に移す。身体を毛布などで覆い、保温して安静に保つ。

気分の悪いときは医師の手当を受ける。

飲み込んだ場合：

横向きの姿勢で安静に寝かせ、直ちに医師の手当を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤：粉末、二酸化炭素、泡。

使ってはならない消火剤：特になし。

特有の危険有害性：特になし。

特有の消火方法：適切な保護具を着用する。可燃性のものをすばやく周囲から取り除く。

消火を行う者の保護：消火者は必ず適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：

ばく露防止のため、適切な保護具を着用する。

付近の着火源、高温体および付近の可燃物を取り除き、風下の人を避難させる。

関係者以外の立ち入りを禁止する。

着火した場合に備えて適切な消火器を準備する。

回収作業においては、火花を発生しない材質の用具を用いて回収する。

環境に対する注意事項：

漏出したものを下水や側溝等に流さない。

除去方法：

少量の場合は、布等に吸収させて回収する。

大量の場合は、流路を土嚢等でせき止めたうえで回収する。

7. 取り扱いおよび保管上の注意

取り扱い：

周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。適切な保護具を着用する。

局所排気装置、全体排気装置などのある換気の良い場所で行う。

取り扱いの後は手洗い等を十分に行い、衣服に付着した場合は着替える。

保管：

乾燥、固化防止のため、使用後は密封して保管する。

子供の手の届かない所に置く。

凍結、直射日光を避け屋内で保管する。

0℃以下、40℃以上になる場所には置かない。

8. ばく露防止および保護措置

密閉場所で作業する場合には排気装置を設ける。

取り扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

管理濃度、許容濃度：設定されていない。

保護具：

呼吸用保護具：マスク。

眼の保護具：保護メガネ。

皮膚の保護具：長袖作業衣。

手の保護具：ゴム手袋。

9. 物理的および化学的性質

外観：乳白色、または乳ツツ色液体。

臭い：微臭。

溶解性：水に可溶。

10. 安定性および反応性

安定性：通常の取り扱いにおいては安定。

反応性：常温付近では単独では危険な反応はない。

避けるべき条件：0℃以下の低温、40℃以上の高温。

危険有害な分解生成物：特になし。

11. 有害性情報

組成物質の急性毒性：

<ジ/テフラ> 2,000mg/kg [経口] 2,000mg/kg以上 [経皮] 4.09mg/L [吸入：ミスト/粉じん]

<F-69> 2,000mg/kg [経口] 2,000mg/kg以上 [経皮] 5.35mg/L以上 [吸入：ミスト/粉じん]

製品の有害性情報：製品としての安全性試験は行っていない。

12. 環境影響情報

有用なデータはないが、河川や湖沼等に流入した場合、水生生物に影響が出ることが考えられる。

13. 廃棄上の注意

内容物や容器は、許可を受けた業者に処理を委託する。

14. 輸送上の注意

転倒、落下ならびに損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

毒物劇物取締法：該当しない。

労働安全衛生法：該当しない。

化管法：該当しない。

消防法：該当しない。

16. その他の情報

参考資料

- ・ 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム
- ・ 化学工業日報社 15307 の化学商品

本書の記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成していますが、法令の改正や新しい知見により改定することがあります。本品の使用にあたっては、使用者の責任において適切な安全対策を実施したうえで、使用してください。本書は情報を提示するもので、安全や品質を保証するものではありません。